

地域密着型金融の取組みについて

<平成21年4月～平成22年3月>

豊橋信用金庫

地域密着型金融の取組みについて

地域密着型金融の取組方針

当金庫は、信用金庫の原点である地域密着型金融を恒久的な取組みとして、継続的に推進し、理解者を増やしていくとともに、地域社会の期待に応え、より一層存在感を高めて、取引先の支援や地域活性化のための活動をさらに推進していくことを基本方針としています。そのために、中長期経営計画（「とよしん『つなぐ力』発揮 2009」）やこれに基づく単年度事業計画を確実に取組んでいくことが、地域密着型金融の機能強化につながるものと考え、事業計画において、「新事業支援」、「新しい融資手法の検討」、「取引先企業の支援活動の充実」、「専門能力向上および公的資格取得への支援」、「地域密着型金融の取組み状況の公表」、「地域社会・経済への貢献活動」など、地域密着型金融に係る取組みを重点課題・主要施策としています。

平成 21 年度においても、下記の 3 項目を中心に、「地域密着型金融の取組み」として具体的に、お取引先の支援や地域活性化のお手伝いを進めてきました。

- 1．ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化
- 2．事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底
- 3．地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

平成 21 年度の取組み概要

当金庫は、地域密着型金融を継続的に推進し、平成 21 年 4 月より、取引先が抱える経営に関する問題解決のため、助言や情報提供を行い、取引先発展のお手伝いをすることを目的とした「とよしん経営相談サービス業務」を開始しました。また、平成 22 年 1 月には、名古屋大学に三河地区の 7 信用金庫が設置した「しんきん環境事業イノベーション寄附講座」に参加しています。なお、平成 19 年 4 月より、当金庫が中心となって豊橋科学技術大学に、全国で初めて先端農業の研究分野での寄附講座として「しんきん食農技術科学講座」を設置しています。

平成 21 年度の実績として、ABL 融資については、食品卸売業者・畜産業者に対し、米および肉牛を担保として 2 件 220 百万円、PFI 事業については、2 件 2,447 百万円、シンジケートローンについては、6 件 5,282 百万円となっています。また、法人支援課による経営改善支援により、要注意債権等の健全化および不良債権の新規発生防止の活動を行い、経営改善支援取組先 190 先に対し、32 先がランクアップしました。

地域密着型金融の具体的な取組み実績

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

項目	具体的取組	取組実績
創業・新事業支援	<p>地域産業界の産学官連携のニーズを踏まえ、産学官連携を推進することにより地域経済の活性化に貢献することを目的として、豊橋技術科学大学や株式会社サイエンスクリエイト等との連携を一層強化し、地域活性化の取組みを推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業、新事業支援のための融資取組み ・豊橋技術科学大学への技術相談等の取次 ・農商工連携や中小企業基盤整備機構の新連携の認定支援 ・豊橋技術科学大学に農業関連寄附講座の継続開講 ・名古屋大学に環境関連寄附講座を設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・融資取組実績 12件 2,473百万円 ・技術相談取次 8件 ・農商工連携認定支援 2件 ・しんきん食農技術科学講座継続中 ・しんきん環境事業イノベーション寄附講座設置
経営改善支援	<p>経営改善支援取組先を選定し、「改善ステップ表」を用いた、業況ヒアリング等の実施による経営改善と債務者区分のランクアップへの取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・経営改善支援取組先 190先 うちランクアップ先 32先
事業再生	<p>しんきんビジネスフェアへの参加を促進するなどの、地域の中小企業のビジネスマッチングへの取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマッチング成約 1件
事業承継	<p>信金キャピタル株等との連携の強化による、M&A業務を推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・M&Aアドバイザー契約締結 1件

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

項目	具体的取組	取組実績
担保・保証に過度に依存しない融資への取組み	<p>地域での情報を活かし、担保・保証に過度に依存しない融資手法への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹産業である農業分野での流動資産担保融資（ABL）の取組み ・財務制限条項等を活用したシンジケートローンの取組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・ABL 米、肉牛 2件 220百万円 ・シンジケートローン 6件 5,282百万円

<p>企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組み</p>	<p>企業の将来性・成長力等を見抜く洞察力の向上と、中小企業の業種ごとの技術力、開発力、販売力等を評価できる専門知識・能力を備えた人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業大学校の中小企業診断士養成講座への職員派遣、資格取得 ・豊橋創造大学大学院修士課程への職員派遣 ・外部派遣講座への職員派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業診断士養成講座 2名派遣 ・豊橋創造大学大学院修士課程 1名派遣 ・外部派遣講座 9名派遣
---	---	--

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

項 目	具 体 的 取 組	取 組 実 績
<p>地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面的再生」への取組み</p>	<p>地域の活性化を計画的に実施する「まちづくり」の視点を踏まえた、地域におけるPFI事業への取組み</p> <p>当地域経済問題や産業についての研究支援や、豊橋市中心市街地発展活動支援のため職員を派遣</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・豊橋市北部学校給食共同調理場整備・運営事業、豊橋市保健所・保健センター及び地域療育センター等整備・運営事業に対する融資取組み 2件2,447百万円 ・社団法人東三河地域研究センターおよび株式会社まちなか活性化センターに職員を各1名派遣
<p>地域活性化につながる多様なサービスの提供</p>	<p>地域への文化貢献活動の一環として、国内外の一流演奏家の演奏を地域に提供することを目的にコンサートを開催</p> <p>地元企業の業況や収益状況等をアンケート調査し公表</p> <p>利用者満足度調査を実施し、金庫経営の改善および地域へのサービス向上に努めた</p> <p>地元の小・中学校で金融教育に関する出前授業を実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年11月7日 アイプラザ豊橋で「ふれあいコンサート」を開催 ・年4回アンケート調査を実施し結果を公表 ・結果をインターネットのホームページに公表 ・豊橋市内の小・中学校5校で実施

平成 21 年度経営改善支援実績

単位:先数

	期初債務者数 A	うち 経営改善支援 取組先数	のうち期末	のうち期末	のうち再生	経営改善支 援取組み率 (%) / A	ランクアップ 率 (%) /	再生計画 策定率 (%) /	
			に債務者区分 がランクアップ した先数	に債務者区分 が変化しなか った先数	計画を策定し た先数				
正常先	4,918	8			4	0.2%		50.0%	
要 注 意 先	その他 要注意先	1,316	156	27	123	64	11.9%	17.3%	41.0%
	要管理先								
破綻懸念先	205	26	5	19	24	12.7%	19.2%	92.3%	
実質破綻先	113								
破綻先	25								
	小 計 (~ の計)	1,659	182	32	142	88	11.0%	17.6%	48.4%
	合 計	6,577	190	32	142	92	2.9%	16.8%	48.4%

(注)

- ・債務者、経営改善支援取組先は、取引先企業（個人事業主を含む）であり、個人ローン、住宅ローンのみの先は含みません。
- ・には当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しています。なお、経営改善支援取組先で期中に完済した債務者は には含めるものの には含めておりません。
- ・期初の債務者区分が「要管理先」であった先が期末に債務者区分が「その他要注意先」にランクアップした場合は には含めています。
- ・期初に存在した債務者で期中新たに「経営改善支援取組先」に選定した債務者については（仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても）期初の債務者区分に従って整理しています。
- ・期中新たに取引を開始した取引先については、本表に含んでいません。
- ・には、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しています。
- ・みなし正常先については正常先の債務者数に計上しています。